

業界団体

トップに聞く

記録的な原毛価格の高騰が続くウール。コスト増に加え国内需要の喚起や環境問題など、これらの課題に対してどう対処していくべきか富田一弥日本羊毛産業協会会長に聞いた。

強い価格上昇圧力

—羊毛価格高騰の要因は、

需要面では、最大の羊毛消費国である中国の需要拡大が第一の要因です。天然繊維志向が強い富裕層が増加、今後も需要は伸びる見方が強いですが、欧米でもラグジュアリーブランドを中心にウールに対する価値観は揺るがず、安定的な需要があります。羊毛の吸放湿性も注目され、最近インナー、アウトドア・スポーツウェアへ用途も広がって来ました。

供給面でも価格上昇圧力が強いですね。5月に香港で開かれたIWO（国際羊毛繊維機構）のオーストラリア代表団の報告では、メリノ頭数は増産しているが最盛期の3分の1にとどまり、特に今季は豪州での

干ばつの影響で供給原料が少なくなると見られています。

—今後の見通しと対策は。

今後も価格上昇が予想されますが、これにはポジティブに対応すべきです。強い需要にけん引される価格上昇は、一般的にその産業にとって発展をもたらす好ましいもの。ウールの機能性、ファッション性を強

海外のようなウールに対する信頼、愛着に注目すべきです。

また、羊毛原料調達が多様化も不可欠です。オーストラリア以外のニュージーランド、南アフリカ、ウルグアイなどの原料へのシフトで、適切な価格を提案して行くことも現実的な対策になるでしょう。

—尾州地区の苦戦などウール離

尾州地区はウールが主力で、特殊な紡績・染色、多様な糸を使用した織物やニット生産と、多彩かつ高度な能力を展開できる素晴らしい産地です。域内で生産協力や新製品開発を進めて行けば、経済全体が「良いものが適切な価格で販売される」環境に回帰し、従来のサプライチェーンの枠を超えて、再び内外の新旧市

場へ展開できると思っています。

需要増を。ポジティブに捉える

調し、小売店・アパレル・消費者に販売するほか、カジュアル・スポーツを含めたインナー素材へも展開も見込まれます。アウトドアブランドでもウール高湿率のTシャツは好調です。また、スーツなど重衣料は、

れが進む中、需要振興策は。現在の日本の繊維関連市場は、最終製品価格から逆算し、使える素材価格や縫製コストを決定する発想が主流になっていますが、これはデフレが長期化する中で構築された体系であると思えます。

しかし、足元ではウールだけでなく、綿花、化学繊維の原料価格高騰、染料値上げ、人手不足による労働コスト上昇、流通運賃の値上げなどが生じています。こうした値上げは「日本も良い意味で、インフレ型の経済に回帰しつつある」とも解釈できると思っています。

—通商問題が及ぼす影響は。米中貿易摩擦については、現状は中国で生産された商品の日本向け輸出が中心であることから、大きな影響はないと見ています。一方でEPA（経済連携協定）などについては、これらを活用し米国や欧州に、

日本製の糸、織物などの輸出拡大をする可能性があり、国内生産および、日本メーカーがASEAN（東南アジア諸国連合）で製造した製品の増加をもたらす枠組みになると期待しています。

—そのほか、協会として取り組むべき課題は。当協会は、原料商から川下の商社まで正会員企業32社・2団体、賛助会員4社を擁する大きな組織となりました。羊毛産業について日本では悲観的な論調が強いですが、海外の羊毛関連企業は、強い需要と価格上昇の中で、先行きに対して極めて強気で意気盛んでした。この海外と日本のギャップを埋めること、即ち日本でウールの本当の素晴らしさと価値を認知してもらうことが、協会のミッションです。

日本羊毛産業協会

富田一弥会長



—そのほか、協会として取り組むべき課題は。当協会は、原料商から川下の商社まで正会員企業32社・2団体、賛助会員4社を擁する大きな組織となりました。羊毛産業について日本では悲観的な論調が強いですが、海外の羊毛関連企業は、強い需要と価格上昇の中で、先行きに対して極めて強気で意気盛んでした。この海外と日本のギャップを埋めること、即ち日本でウールの本当の素晴らしさと価値を認知してもらうことが、協会のミッションです。

これは海洋汚染につながるマイクロプラスチックへの懸念などに起因する、ファストファッション批判から生じた流れです。自然に還元されるウールは6000年の長きにわたる人類と共にあるサステイナブル（持続可能）な素材。長く着られる良い服を選ぶというスローファッションへの強い志向は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）と流れを同じくし、企業や投資家も注目せざるを得ないものでしょう。羊毛産業に追い風が吹いてきたと考えています。

この点で注目しているのが、英国を中心に欧州で広がりをみせているスローファッションのトレンドです。